

# ねりとう GOLF



練馬稻門会ゴルフ部会会報（年2回発行）

2010年冬 Vol.3

## 第1回早大校友会ゴルフ大会に参加

— 練馬Aチームが団体戦で第2位を達成 —

昨秋の平成21年11月5日（木）、第1回早大校友会ゴルフ大会が好天に恵まれた久邇カントリークラブ（埼玉）にて開催された。過去の「総長杯」以来3年振りで、装いも新たに全国校友会ゴルフ大会であり、各地域稻門会などから117名が参加した。

練馬稻門会ゴルフ部も2チーム編成10名がエントリーし、日頃の腕前とチームワークを発揮した結果、Aチーム（西山隆司氏、戸津川謙久氏、中島晴喜氏、武田幸雄氏、徳田浩平氏）が団体戦で、トータルスコア296.6で見事2位を達成した。ちなみに団体優勝はスコア293.8で大阪早稲田倶楽部、3位は韓国高麗大学校日本校友会のスコア299.0であった。（注：スコアはダブルベリア方式のハンディ算定による上位4名のネットスコアの合計、優勝チームのみ表彰）

また、個人戦は安本匡剛氏（杉並）がネットスコア71で優勝となり、ベストグロスは矢嶋正一氏（川越）が72とバーブレイは見事であった。第2回以降も毎年開催予定とかで次回は頂点を目指し、そのためにも月例コンペの活性化を図りたいものである。

中島晴喜（S33 商）



## 2010年度 前半の月例コンペ予定

第112回	3月24日（水）	石坂ゴルフ倶楽部
第113回	4月20日（火）	鳩山カントリークラブ
第114回	5月20日（木）	飯能グリーンカントリークラブ（練馬早慶対抗ゴルフ大会）
第115回	6月11日（金）	清澄ゴルフ倶楽部

お願い：開催月度の1ヶ月前に幹事より詳細を案内しますので、多数の会員の参加をお待ちしています。

第 107 回 月例コンペ優勝

—北海道ツアーワーの思い出—

矢沢酉二 (S30 文)

小生にとって北海道でのゴルフは久し振りの事で、何としても参加したいという強い思いがありました。ことにニドムは今回が三度目で、これまで苦い思い出が残っていました。ただ早朝に出発し、2 日間プレーし、その日の遅くに帰るという日程は、老齢の小生にとってきつい事が予想されたが、無事これを克服出来た事が今回の最高の喜びでした。旅行の最初にハプニングがあり財布とカードを忘れ、小島滋さんには借金と送迎にと、すっかりお世話になりました。これも年の故かな? ザ・ニドムではお陰様で優勝する事が出来ました。その要因は 4~5 月に自分のコースでよくプレーした結果、比較的ショットが安定していた事と、同伴の三宅さん・石渡さん・柳さんの御三方との和やか雰囲気によるものでした。翌日のアーレックスのプレーは疲れもあってか惨憺たるものでした。この二日間ともコースでキツネと出合ったのも北海道ならではの事でした。小島さんの親戚でもある札幌の「江戸八」での最終打上会は料理の美味と店の方々の素晴らしいおもてなしは、今回のツアーワーに錦上華を添えるものでした。



2009.6.3

第 108 回 月例コンペ

—カートの助けで優勝—

鶴島琢夫 (S36 法)

ここ 3 年程は、腰痛の悪化からカートなしでは

1 ラウンドのプレーがもたなくなってきた。最近は多くのコースでカートの利用が出来るようになり助かっているが、所謂名門と言われるコース程カートの導入には消極的のようである。9 月の案内を頂いた際、飯能ゴルフクラブにカートがあるかどうか気がかりであったが、中島部長が手配してくださったとの連絡を頂きホッとした。ところが数日後、親しい仲間内の会合の席での事、飯能のメンバーから「俺は総務委員会の委員だけどカートの事は聞いた事がないな。あるとすると余程強力なコネじゃないかな。」と脅かされた。不安もあったが当日朝コースに到着してみると間違いなくカートは用意されていた。飯能は易しくないよと言われていたが、出だしの 3 ホールで早くも 7 オーバーと前途多難のスタートとなってしまった。その後多少持ち直したが、アウトは 48 の上がりとなった。ラウンド中、同伴の高崎さんから「そんなに簡単にティショットがフェアウェイにいったら面白くないでしょう」と何度か冷やかされた。2 打目以降がいかに悪いかの証左もある。昼食後は気を取り直して後半戦に臨んだが、出足はまた 3 ホールで 5 オーバーと芳しくない。そこで悪いスコアはここでお終いとスコアカードの 3 番と 4 番の間に鉛筆で太く区切りの線を引いた。これが功を奏したのか、最終ホールをダボとしたもののインは 46 の上がりとなった。最終結果はパープレーであったが、幸いにも優勝の栄に浴した。新年度も腰と相談しながら、極力参加させていただきたいと思っています。



2009.9.29

## 第 109 回月例会

— 第 109 回コンペに優勝させて頂いて —

土屋敏子 (S32 文)

今、夢のような幸せな気分です。10月 20 日常陽カントリー倶楽部に於いて、稻門会では初めての優勝でした。天気に恵まれ小松さん・寺村さん・エミ子さんと同伴者にも恵まれ楽しくプレーが出来ました。

最近すっかり飛距離が落ち、もう優勝など有り得ないと決めていました。毎朝している練習も健康の為にと割り切って続けていました。そんな時の優勝ですから嬉しいです。沢山ハンデを貰っての事ですが、やっぱり最高の気分です。年の故ばかりではないと思いますが、下手になる一方ですから何時までゴルフを続けられるかしらと心細くなっていた時、寄居カントリーの仲間からワンディレッスンに誘われました。それは 10 時から打ち放しでスイングの矯正をして頂きその後アプローチ・バンカーのレッスンを受けます。昼食も先生とご一緒で、為になる話も聞けます。午後はバターの練習をして最終組の後からコースに出てハーフを回ります。このようなレッスンを月一回、昨年一月から続けています。これが結構楽しく、ゴルフを続ける原動力になっているかも知れません。ゴルフ大好き人間ですから、一日でも永く続けたいと思います。

私にとって記念すべき喜寿の優勝でした。有難うございました。



## 第 110 回月例コンペ

— おかげさまで…優勝!! —

小松温子 (準会員・小松袈伴氏 夫人)

平成 21 年 11 月 12 日、第 110 回月例会が富岡カントリー倶楽部にて開催され、何と初優勝という思いもかけない結果を頂いてしまいました。これまで数回プレー一致しました大好きな富岡カントリー倶楽部での今回の優勝は正にハンデとツキに恵まれた結果!と言えるでしょう。前日からの大雨がまるで嘘のようにすっきりと晴れ渡り、紅葉の美しい各ホールを野田様・藏本様・中島エミ子様と一緒に和やかに楽しくプレーさせて頂きました。本当に有難うございました。特に印象に残ったのが(レディースティーからではありましたが) 4 番で DC を頂けた事、そして樹にぶつかってオンしてのラッキーな 5 番の NP…と、まさに運とツキに助けられた連続の奇跡のショットです。でも、これからはラッキーばかりを期待してはいけませんので、練習にも励み安定したプレーが出来るようにしたいと思います。

ゴルフを始めた 25 年前、当時レッスンを受けていたプロから「女性はどんな時もコースを美しく歩きなさい」と言わされた事を時折思い出してはスコアが悪くて肩を落とすような時も、この言葉を肝に銘じ明るく楽しいゴルフを…と心がけております。新しい HC が 20 となり、これからは一層厳しいプレーとなりそうですが頑張ります。皆様どうぞよろしくお願ひ致します。



## 第 111 回月例コンペ

—ブービーメーカーと優勝—

西山 隆司 (S42 商)

12月10日に清澄ゴルフ倶楽部での開催の月例ゴルフコンペに初めて優勝させて戴き大変喜んでおります。5年前に60歳を迎えたのを機に練馬稲門会及びゴルフ部に入会させて戴きました。

昨年暮れ頃から脊柱管狭窄症という腰痛に悩まされ、3ヶ月程ゴルフを一切止め色々治療に努め若干良くなり、3月後半から練習はせずに本番のみ再開しました。3月の当会の月例会に参加しましたところ、ブービーメーカーという屈辱的な結果となり、ゴルフを始めて38年目にして初めての経験をしました。しかしながら練習は腰痛の為に行わないと決めゴルフが出来れば幸せと他のコンペにも参加しましたが、更にブービーメーカーを含む散々の成績が続きました。それでも本番だけを続けるうち、徐々に成績も戻ってきました。このような状況の中で今回の月例コンペに参加したのですが、当日スタート時にドライバーを取り出したところ、なんと前の週に同伴した方のドライバーだったのです。最初の2・3ホールは恐々使っていた為ミスショットばかりでしたが、今日は仕方ないと諦めたところ急に好ショットが出始め、後半は自分のドライバーよりもかえつて調子が良くなり好成績につながりました。

65歳になったのを機に業務を3割程減らした結果、腰痛の悪化がない限り月例コンペに参加が可能と思われますので、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



## 《ゴルフ雑感》

—景気とゴルフ—

五十嵐修三 (S38 商)

今は大変な不況で新しい年を迎えたのに、もう一つ気分が盛り上がりません。こんな時20年も前の事を思い出しました。



お得意先の懇親ゴルフ会でホールインワンをしました。第一組でスタートし2番ホール181ヤード・5番アイアンで打ったボールが朝日の光の中グリーンに向かって真っ直ぐに飛んでいきました。眩しさでボールの落ち際は見えません。パートナーの方々は皆さんホールに寄せたのですが、私のボールが見つかりません。グリーン先のラフを探しているとキャディーさんが「入っていますよ」と大声を上げました。ボールを確認し“ホールインワン”と分かりました。カップに入る瞬間は見ていませんので、喜びの感激はしばらく経った後からじっくりと湧いてきました。

話は戻りますが、一ヶ月後ある経済関係の雑誌社からホールインワンについての取材がありました。

「ホールインワンは今の景気のようですね」

「どういう意味ですか？」

「パットしません」

こんな話をしました。

ゴルファーにとってホールインワンは一つの夢ですし当時、私もとても嬉しく感じた事を憶えています。何はともあれ、不況からできるだけ早く脱却し、世の中が一層明るくなる事を祈るばかりです。

《ゴルフ雑感》

—海外のゴルフ事情—

縫村義則 (S32 政経)

私が初めてゴルフクラブを握ったのは約40年前ブラジルのサンパウロ市に於いてである。赴任して間もなく知り合いに誘われて、日本法人が所有していたゴルフ場の会員になった。それから毎週末サンパウロ・リオ街道沿いにあるゴルフ場（自宅から約50km）通いが始まった。



当時ブラジルは軍事政権下にあって反政府ゲリラ活動が散発し不安はあったものの、ゴルフに影響は無かった。ゴルフ仲間から、外国では何処のゴルフ場が良かったかと聞かれる事が多く、私が勤務した国に限れば、チリの首都サンチャゴのゴルフ場である。殆どのゴルフ場は有閑層の社交クラブの付属施設でサンチャゴのゴルフ場もアンデス山脈の麓にあって景観も良く、管理も良い。ここでのゴルフで思い出すのは一人の日本人ゴルフ仲間である。彼は金製のパターを使用し、専属のキャディがティアップするボールを打つという優雅なゴルファーであった。

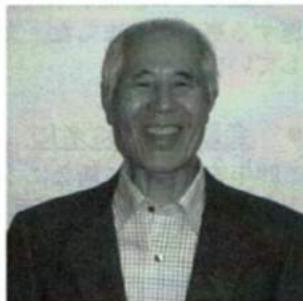
次に、ポルトガルの首都リスボン近郊リゾート地域の近くに日本の建設業者が所有するゴルフ場があった。広大な丘陵敷地の中に五つ星級の豪華ホテルも併設され、クラブハウスも豪華で日本式風呂もあった。このゴルフ場に触れるのは日本で有名な会社が単独でポルトガルにホテルとゴルフ場を建設した事が大変珍しいという事と、リスボン駐在の外交団の第一回ゴルフコンペがこのコースで開催され、ドイツの外交官と接戦の末私が優勝した（1993年3月）思い出のコースだからである。

《ゴルフ雑感》

—腰痛との闘い—

吉田幸治 (S35 商)

47～8年も前の独身時代に、友人に誘われ荒川の河川敷にできたコースのメンバーとなりました。営業部門に配属され仕事の為にメンバーとなつたのですが、近くに練習場もなく練習もせずにコースに出るものですからスコアにならず、惨憺たる結果でした。



その後職場がスタッフ部門へ変わりゴルフどころではなくなった上、運動不足から椎間板ヘルニアを発症。クラブを手にする事もなくなりました。そして10数年を経て再び営業部門に戻り、腰痛は完治していましたがゴルフを再スタートする事に。しかし身体の使い方が悪かったのか、再び腰痛に悩まされる事になりました。ゴルフ場で突然腰痛が起り途中棄権といった事態や、なんとか18ホールを回ったものの他の人の手を借り這うようにして自宅に辿り着くといったケースが再三ありました。なので、今でもラウンド後には風呂後、脱衣所で下着姿のまま恥も外聞もなく腰痛体操をし、必ず腰のケアをする事を心掛けています。

現役を退き時間的・精神的に余裕ができるにも関わらずトータル100を切れずハーフ40台を出せない現実は厳しい。しかしこの現実から逃れる事無く、むしろこの現実を楽しめるようなゴルフを心掛けていきたいと念じる今日この頃です。

最後に私の拙い言い訳川柳の一句をあげて、筆をおきます。

“ダボ・トリでも 日々好日の ゴルフかな”

## ゴルフ部の現況紹介

### ● 通算 111 回の月例コンペを開催

平成 6 年の創部以来 約 15 年が経過しましたが、お蔭さまで昨年 12 月度で第 111 回目の月例コンペを実施する事が出来ました。文字通り練馬稻門会サークル活動の中核と自負し、メンバー各位の意識も年々高揚しています。

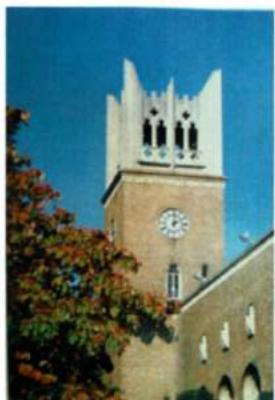
### ● 会員数も 103 名に

昨年末と年初に新たに 17 名の会員が新規登録され、総勢 103 名となりました。会員構成の特徴は 70 歳以上が約 30 名で練馬のグラントシニアのパワーを如何なく発揮しています。又、会員の夫人達が準会員として加入されており、女性会員総数は 10 名超となっておりその活動に華を添えています。

### ● 役員 9 名で組織運営をサポート

練馬区は地形上、東西に横長く分布しており会員とのコンタクトをより密にする為に、地区別担当幹事 9 名（下記参照）にて組織運営しています。お蔭さまで各役員の強力なサポートと会員のご協力により、今後ともサークル活動が更に活性化してゆくものと期待されています。

練馬稻門会事務局をはじめ、他のサークルメンバー各位のご理解とご協力も切にお願い致します。



創立 125 周年記念事業募金にゴルフ部会として寄付し、  
銘板に顕彰される



早大総長杯ゴルフ大会で  
団体戦 2 連覇達成の橋  
(H17 年 11 月, H18 年 11 月, 於おおむらさき G/C)

### ゴルフ部会役員名と担当地区名

1. 部長	中島晴喜 (S33 商)	石神井地区	6. 幹事	吉田幸治 (S35 商)	石神井地区
2. 副部長	清水 晃 (S34 理工)	豊玉地区	7. "	五十嵐修三 (S38 商)	大泉地区
3. 幹事長	高崎龍介 (S39 商)	富士見台地区	8. "	牛山彰紀 (S44 教育)	光ヶ丘地区
4. 幹事	野田 明 (S37 政経)	光ヶ丘地区	9. "	後藤修一郎 (S44 商)	桜台地区
5. "	戸津川謙久 (S39 政経)	大泉地区			